

『だから あなたが祈るときは』

【7日目 御心が行われますように 天におけるように地の上にも】

2025 年 1 月 14 日(火)

彼が主人である

私たちはみな、その日一日の計画や長期的な計画を持っています。そして多くの場合、自分の計画を実現するために神様の助けや祝福を祈り求めますが、神様のご計画そのものを求めようとしません。神様は「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」（エレミヤ 29:11）と言われます。私たちが神様の祝福やリソースを手にするためには、神様のご計画に従わなければなりません。

私たちは、自分がしてほしいことを祈りによって神様に指示していないでしょうか。まるで私たちが主人であって神様がしもべであるかのように。実際は神様が主人であり、私たちがしもべであることを決して忘れてはいけません。私たちは、主なる神がどうすべきか教えてくださる方法に従うべきです。「毎朝、その日一日神に献身して、すべての計画を彼にお任せし、摂理のままに実行するなり、中止するなりするのです。こうして、日ごとに生活を神のみ手にゆだねるとき、次第にあなたの生涯がキリストの生涯に似てくるのです。」（『キリストへの道』改訂第3版文庫版 99 ページ）

主の祈りの次の言葉を思い出してください。「御心が行われますように 天におけるように地の上にも」。天国では、天使たちでさえ神様に仕えています。神様が彼らに任務を与えると、彼らはそれを実行するのです。天使たちの返事はいつも「はい」であり、彼らは即座に行動します。神様に向かって指示する者や、多忙を理由に「後まわしにしたい」と交渉する者などいません。あるいは「自分は力不足だから」とか「別の良い方法がある」と言って議論しようとする者もいません。天使は、主のご命令を受けるとすぐに行動し、神様が計画されている物事のために、すべてのリソースを提供する準備を整えるのです。

私と妻が 11 時間もの長いドライブの最中だったときのことです。私たち夫婦は毎朝、その日一日の神様のご計画を求め、また奉仕する機会を与えてくださいと祈っていました。運転を開始して 5 時間が過ぎた頃でしょうか、突然親しい牧師の友人から電話がかかってきました。「僕のために祈ってほしいんだ」と彼は開口一番にそう言いました。「キューバに伝道に行かなくてはならないのに、急に車が故障してしまって、空港に行くためのバスもないんだ」。

彼は、私たちがちょうど車で通り過ぎようとしている地域に住んでいたもので、「君の家の正確な場所を教えてください」と言い、彼は自宅の最寄りの高速出口の名前を教えてくださいました。私たちはちょうどその出口付近にいたのです。「よかった、今最寄りの高速出口を降りるよ!」と私は叫びました。「えっ嘘だろ? 信じられない」と彼は驚いてしまいました。「君の家は、ここから 5 時間も離れた場所にあるじゃないか!」私たちは高速の出口を降りるとすぐに彼の家まで迎えに行き、急いで彼を空港まで連れて行きました。こうして彼は無事にキューバまでたどり着いたのです!

私たちはしばしば自分自身の計画に基づいて行動するため、物事が思い通りに進まなかったりストレスを感じたりすると途中であきらめてしまうことがあります。私たちには未来の全体像がまったく見えていないからです。しかし私たちにはわからなくても、神様はすべてをご存知であり、私たちを、愛をもって導いておられるのです。

「輝かしい未来を計画しても、完全に失敗に帰する人が実に多い。神に自分の計画をゆだねるがよい... もしも、神の子供が最初から事の終わりを見ることができ、神と共に働く者として果たしている

仕事の栄光を認めることができたならば、神が導かれる道は、自分たちが導いて欲しいと望んでいる道にほかならないことがわかる。」(『ミニストリー・オブ・ヒーリング』新装版 321 ページ)

神様の御心を行うには、神様のご計画を知らなければいけません。そして祈りの中で一方的に願うだけでなく、聞くことも重要なのです。神様が私たちに語ることは、私たちが神様に語ることよりもずっと重要なのです。「神のみ旨を知るには、個人的な経験を必要とする。わたしたちは各自その心に、神がお語りになっているのを聞かなければならない。他のすべての声が静まって、神の前でわたしたちが静かに待つ時、心の静けさは神のみ声をいっそう明瞭に聞こえさせてくれる。」(『ミニストリー・オブ・ヒーリング』新装版 33 ページ)

祈りを通じて私たちは神様に話しかけ、御言葉を通じて神様は私たちに語りかけます。祈りと御言葉の学びは常に一緒にあり、決して分けられるべきではありません。「聖書は、耳で聞くことができるかのように、私たちに語りかける神の声である。」(『教会への証し』第6巻 393 ページ[英文])

確かに、私たちはすべての必要を主にゆだねなさいと言われていたので(1ペテロ 5:7)、自分の必要を神様に申し上げることができます。助けを求めること自体は悪いことではありませんが、神様をご存知ないかのように伝えるべきではなく、すでに助けを与えようとしておられる神様の方法にまかせるのです。神様は常に私たちに選択の自由を与え、私たちの意思を尊重してください。神様が私たちにご自分の意志を押しつけて介入されることは決してありません。私たちが、神様の助けと方法におまかせする意思を伝えるときに、神様が介入してくださるのです。

祈りとみ言葉をとおして、次のことを瞑想しましょう。あなたの計画や必要を伝えた上で、神様の導きを祈り求めてください。神様のご計画を最優先にするのです。まず、神様が約束してくださったようにすべての必要を満たしてくださることを信じましょう(マタイ 6:33)。神様に信頼し、神様の御心に従うことができるように祈りましょう。「主よ、私はここにおります。今日、私を用いてください。私の人生にあなたの御心がなりますように」と。共に祈りましょう。

祈りのグループの種類や、祈る方法はさまざまです。今から 30～45 分間、聖霊に導かれるままに、一致した祈りの時間を過ごすことをお勧めします。以下は、御言葉に基づいて祈る祈りの一例です。他の聖句を読んで祈ることもできます。祈りのアイデアについてはリーダーズガイドをご覧ください。

【神のみ言葉によって祈る】

「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている…将来と希望を与えるものである」（エレミヤ書 29 章 11 節）

「わたしは、あなたたちのために立てた計画を心に留めている」

主よ、私たちは自分自身の目標や計画に夢中になりがちです。野心や私利私欲に惹かれ、自己中心であることを赦してください。代わりにあなたのご計画を示してください。私たちの周囲の必要に目を向けさせてください。私たちの手と足を、あなたへの奉仕のために用いてください。

「将来と希望を与える」

神様。私たちが地上でたてる計画は崩れ去り、やがて無に帰しますが、あなたのご計画は永遠に続きます。私たちの失敗が永遠に続くものではないことに感謝します。今日、天のみ国を垣間見ることのできる信仰をお与えください。私たちの内に与えてくださるあなたの生命を、今日も生きることができますように。

【さらなる祈りの提案】

感謝と讃美： 与えられた祝福を具体的に感謝し、神の恵みを賛美する

告白： 数分間、個人的な告白を行い、神の赦しに感謝する

願い： 現在の課題や決断に知恵を与えてくださるようお願いする

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神が祝福してくださるように
祈る

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈る

静かに耳を傾け、応答する： 静かに神の声に耳をかたむけ、賛美と歌で応答する時間をもつ